

— 『世界遺産楽習帳』のポイントと使用方法について—

学校の先生やご家庭の方へ



「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会（福岡県・宗像市・福津市・宗像大社）では、子どもたちが世界遺産や、その周辺に広がる海の環境について楽しく学ぶことができる、『世界遺産楽習帳』と『世界遺産楽習帳（海の環境学習編）』を制作しました。学校の授業や遠足、社会科見学などでも使えるような内容となっていますので、ぜひご活用ください。

※宗像市・福津市では『世界遺産楽習帳』を小学5年生に、『世界遺産楽習帳・海の環境学習編』を小学4年生に学校で配布します。その他、世界遺産のガイダンス施設（海の道むなかた館など）でも配架しています。

ポイント



- ① 4～6年生の授業のほかに、宗像市・福津市で実施されている世界遺産学習や水辺教室でも活用できます！また、『海の環境学習編』はSDGsの学習にも適しています。
- ② 世界遺産の構成資産やガイダンス施設など、現地で見て、聞いて、感じた内容を書き込みながら学ぶことができるワークブックタイプ。
- ③ 事前、事後学習にも最適な動画もあります！

動画及び素材集について



世界遺産の公式ホームページ（キッズページ）から、『世界遺産楽習帳』の内容に準じた解説ページや動画などにアクセスできます。事前、事後学習にご活用ください。

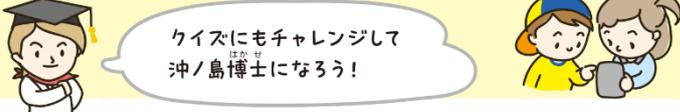
世界遺産キッズページ



世界遺産キッズページや子ども向け解説動画では、沖ノ島などが世界遺産になった理由や見どころをタカシくんたちが分かりやすく教えてくれるよ！

クイズにもチャレンジして
沖ノ島博士になろう！

子ども向け解説動画



学習プランについて



『世界遺産楽習帳』を使った学習プランを東京書籍株式会社や学校の先生とともに作成しました。授業を組み立てる上での参考にしてください。

問い合わせ先



「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会（事務局：福岡県九州国立博物館・世界遺産）
〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園 7-7
TEL 092-643-3162 FAX 092-643-3163 MAIL sekaiisan@pref.fukuoka.lg.jp

『世界遺産楽習帳』を活用した
第5学年／第6学年 総合的な学習の時間 学習プラン



学習の概要

単元名	「わたしたちの生活と環境－世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島関連遺産群－」	
関連教科 (単元等)	5年生 社会科「わたしたちの国土」 6年生 社会科「世界の中の日本」、国語科「聞いてほしい、この思い」	
目標	自分たちの住む地域につながりがある場所が世界遺産であることに気づき、その歴史や価値を捉えると共に、課題に対する解決策について提案することを通して、地域の一員として自分たちができることをしようとする。	
評価の観点	知識及び技能	設定した学習課題の解決のために、資料を使って調べ、宗像地域の歴史や世界遺産の価値について捉えることができています。
	思考力, 判断力, 表現力等	世界遺産の魅力を守るためにできることを考えるという課題を設定し、調べたことを基に提案することができています。
	主体的に学習に取り組み態度	世界遺産のある地域の一員として、できることはないか考え、具体的な取り組みについて粘り強く考えることができています。

学習展開 (全2時間：課題設定, 調べ学習, できることの決定)

段階	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点
導入 (10分)	<p>1 「わたしたちの国土」の学習を想起し、日本の自然環境の特徴を振り返った後、私たちの地域に世界遺産が存在することを知り、本時学習のめあてをつかむ。</p> <p>(1) 日本の自然環境の特徴を振り返る。 (2) 日本の世界遺産の写真を見て、世界遺産が日本各地にあると共に、私たちの地域にも世界遺産が存在することを知る。</p>	<p>○教科書やインターネットの地図サービスで日本の位置や国土の様子を俯瞰しながら国土の学習を振り返らせることで、日本が海や山など豊かな自然に囲まれて自分達が暮らしていることを視覚的に捉えさせる。</p> <p>○「私たちが住む福岡県には、世界遺産はないのだろうか?」と問い、「神宿る島」宗像・沖ノ島関連遺産群に出会わせる。尚、福岡県には「明治日本の産業革命遺産」が存在することにも触れる。</p>
<p>めあて：私たちの地域にある世界遺産「宗像・沖ノ島関連遺産群」の特色を調べよう。</p>		
展開 前半 (35分)	<p>2 調べる見通しを持つ。</p> <p>○ 世界遺産の定義や条件、分類について 世界遺産の定義：世界遺産条約にもとづいて登録された遺跡や自然などのこと。 条件： 現在、将来の人類にとって大きな価値を持つこと（10の登録基準） 分類：文化遺産・自然遺産・複合遺産</p> <p>○ 方法－子ども学習用動画を視聴し、気づいたことなどをメモする。</p>	<p>○世界遺産について、教科書や資料集、WEB検索を使って定義や条件、分類を調べさせる。その後、最初に提示した「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が3つの分類と10の登録基準のどれに該当するか確認させる。</p> <p>○動画視聴の際は、気づいたことなどをメモさせ、後の発表に生かすように助言する。</p>



<p>展開 後半 (35分)</p>	<p>3 「神宿る島」宗像・沖ノ島関連遺産群の特色について調べ、話し合う。</p> <p>(1) 宗像・沖ノ島関連遺産群の特色について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1000年前、「航海の守り神」され、おいのりやお祭りが行われていた。 ・ しきたり一昔、沖ノ島の神様は、すごい力を持った神様として「お言わずさま」とも呼ばれ島自体が大事に守られてきた。(自然・古代の祭祀遺跡はほぼ手つかずの状態を受け継がれてきた) ・ 島全体が国の天然記念物である。 ・ 島に22カ所の祭祀遺跡がある。 <p>(2) 調べたことを出し合い、世界遺産の意義や価値、未来に向けて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発表の視点－宗像・沖ノ島関連遺産群の特色 ○ 話し合い－世界遺産の意義や価値、未来について 	<p>○「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群は、世界遺産の評価基準(ii)と(iii)に該当。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「(ii) 価値観の交流」については、『楽習帳』p.8～p.9の年表を活用して、日本文化の基礎である漢字や仏教が伝った時代に、沖ノ島で祭祀(おまつり)が行われたことを伝え、沖ノ島で見つかった鏡や指輪などが、その時代の東アジア(中国・朝鮮半島・日本)の価値観の交流を示す証拠であることを伝える。 ・ 「(iii) 文化的伝統」については、『楽習帳』p.10「沖ノ島のしきたり」を活用して、沖ノ島を大切に思う(信仰)が伝統として、1600年前から現在まで受け継がれてきたことによって、大切な遺跡や自然が守られてきたことを伝える。 <p>○児童が出し合った意見を板書で整理した後、世界遺産の意義や価値について問いかけながら、「こうした先人達が残してくれた遺産をみなさんは、どうしていきたいか。」と問い、意見を交流しながら、未来に向けて守り、受け継いでいきたいという考えを引き出したい。</p>
<p>終末 (10分)</p>	<p>4 本時学習をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時学習の感想などを書き、まとめる。 	<p>○本時学習を振り返らせ、初めて知ったことや感想などを書かせるようにする。また、「世界遺産楽習帳(海の世界学習編)」を紹介し、更なる学習や課外学習としての活用を促す。</p>

『世界遺産楽習帳（海の環境学習編）』を活用した
第5学年／第6学年 総合的な学習の時間 学習プラン



学習の概要

単元名	「守ろう！世界遺産～何ができるかな SDGs～」	
関連教科 (単元等)	5年生 社会科「わたしたちの国土」、国語科「環境問題について報告しよう」 6年生 社会科「世界の中の日本」、国語科「聞いてほしい、この思い」	
目標	自分たちの住む地域につながりがある場所が世界遺産であることに気づき、その歴史や価値を捉えると共に、課題に対する解決策について提案することを通して、地域の一員として自分たちができることをしようとする。	
評価の観点	知識及び技能	設定した学習課題の解決のために、資料を使って調べ、宗像地域の歴史や世界遺産の価値について捉えることができている。
	思考力, 判断力, 表現力等	世界遺産の魅力を守るためにできることを考えるという課題を設定し、調べたことを基に提案することができている。
	主体的に学習に取り組み態度	世界遺産のある地域の一員として、できることはないか考え、具体的な取り組みについて粘り強く考えることができている。

学習展開 (全2時間：課題設定, 調べ学習, できることの決定) ★は「海の環境学習編」のページ数

段階	活動／内容	思考の流れ／使用ページ等
導入 (10分)	1 世界遺産について調べ、調べたことを基に学習課題を設定する。 ○ 自分の住む地域の世界遺産について関心をもち、問題点について捉えること	・宗像市, 福津市には世界遺産があるな。 ・でも, 課題もあるみたいだな。 ・私たちにできることはないかな。 ★1～4 ページ ★子ども用動画視聴
学習課題：世界遺産を守るために、私たちに何ができるのだろう		
展開 前半 (35分)	2 学習課題解決のために調べ、話し合う。 (1) 世界遺産を取り巻く課題や SDGs について調べる。 ○ 海ごみが世界遺産に与える多様な問題があることに気づき、世界でも同じような問題があることを捉えること	・海ごみがたくさんあるみたいだね。 ・世界でも同じように取り組んでいるね。 ・SDGs って聞いたことあるな。 ・身近なことに関係もしているね。 ★5～9 ページ ★unicef SDGs club の HP
展開 後半 (20分)	(2) 自分たちが出来ることについて計画する。 ○ 世界でも同じような課題意識をもち、取り組んでいることに気付くこと	・ごみ拾いは効果がありそうだよ。 ・どこをするとよいかな。 ★6, 10～11 ページや Google map
終末 (25分)	3 自分たちが出来ることについて、友達に提案する。 ○ 世界遺産のある地域の一員として、自分ができることがないか考え、活動の意欲をもつこと	・私たちにでもできることがあるはずだ。 ・住んでいる地域のことから何かしたいな。 ・呼びかけることも大切だね。 ・行動するのに加えて提案してみようよ。 ・親や地域の人, 学校の人に聞いてもらおう。



『世界遺産楽習帳（海の世界学習編）』を活用した
第4学年 社会科 学習プラン



学習の概要

単元名	「特色ある地域と人々の暮らし」～自分たちの地域も調べてみよう～ ※ 特色のある地域の学習を行った後に、自分たちの地域について調べる	
目標	知識及び技能	資料を使って調べ、地域で大切にしてきた場所が世界遺産となり、大切に守られていることを理解することができる。
	思考力, 判断力, 表現力等	世界遺産のある地域のまちづくりについて課題を設定し、調べたことを基に、自分の考えをもち、表現することができる。
	学びに向かう力 人間性等	世界遺産のある地域に住む一員として自覚し、自分の住む地域に誇りをもつと共に、できることはないか意欲をもてるようにする。

学習展開 (全1時間)

★は「海の世界学習編」のページ数

段階	活動/内容	思考の流れ
導入 (10分)	<p>1 宗像市, 福津市の特色について考えるめあてについて話し合う。</p> <p>○ 自分の住む地域の世界遺産について関心をもつこと</p> <p style="text-align: center;">めあて：世界遺産のある宗像市, 福津市について調べ, 特色を話し合おう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特色のある地域の学習をしたね。 ・宗像市, 福津市にも特色があるよね。 ・世界遺産があるのは誇らしいな。 <p>★子ども用動画視聴</p> 
展開 (25分)	<p>2 宗像市, 福津市の世界遺産と自然環境について調べ, 特色について話し合う。</p> <p>(1) 世界遺産と自然環境について調べる。</p> <p>○ 宗像市, 福津市の何が世界遺産なのか, 世界遺産をとりまく貴重な自然や海の世界遺産について捉えること</p> <p>(2) 世界遺産や豊かな自然を維持するための問題点について調べる。</p> <p>○ 地理的な要因から海ごみが集まりやすく, それが世界的な問題と同じように宗像市, 福津市の問題となっていることを捉えること</p>	<p>(1)について</p> <p>★1～3 ページ, 14・15 ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗像市, 福津市では神社(宗像大社)や古墳が世界遺産になっているな。 ・沖ノ島には大切な歴史や文化財とともに, 貴重な自然も残されているね。 ・1600年以上前から宗像, 福津の人に守られてきたのだな。 <p>(2)について</p> <p>★4～7 ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・でも, 海ごみも多いみたい。 ・私たちも何かできることないかな。
終末 (10分)	<p>3 学んだことを基に世界遺産のある地域に住む一人として, どのように関わっていきたいか話し合う。</p> <p>○ 自分の住む世界遺産のある地域の特色についてまとめ, 自分ができることについて考えること</p>	<p>★8～11 ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs って聞いたことあるな。 ・世界でも問題になっているのだね。 ・できることがありそうだな。 ・呼びかけたり, ゴミ拾いしたりしたいな。 ・大切にしてきた世界遺産を私たちも守っていききたいな。